久留米広域合併任意協議会

第 2 回会議録

於 創世 暁の間

平成 1 4 年 8 月 7 日 (水)

久留米広域合併任意協議会第2回会議録

平成14年8月7日(水)

10時00分開会

創世 暁の間

○出席委員(31名)

久留米市

白石勝洋 委員(会長)
十中大雅 委員
前川博 委員

八女市

野田国義 委員(副会長)
樋口安癸次 委員
野間口幸江 委員
橋本長年 委員

田主丸町

馬田博 委員(副会長)
小西和義 委員
古賀正邦 委員
清水公子 委員
三浦利明 委員

北野町

浦野典幸 委員
谷口邦博 委員
益永工三子 委員

城島町

佐藤利幸 委員(副会長)
鐘ヶ江厚次 委員
今村新 委員
中島宏輔 委員
平田正 委員

三潞町

砂山惣吉 委員(副会長)
内田満 委員
田中義一 委員
寺島廣記 委員
富松章子 委員

上陽町

牛嶋剛 委員(副会長)
小川健之 委員
高田日出男 委員

広川町

高鍋具弥 委員(副会長)
鶴元繁美 委員
稲富保 委員

○欠席委員(6名)

久留米市

今村信義 委員
古賀喜美子 委員

北野町

秋吉喜一郎 委員(副会長)
井口正美 委員

上陽町

上野重人 委員

広川町

渡邊元喜 委員

久留米広域合併任意協議会（第2回）

（午前10時00分 開会）

議長（白石勝洋君） 皆様おはようございます。

それでは定刻となりましたので、久留米広域合併任意協議会の第2回の会議を開催させていただきたいと存じます。

本日の会議の傍聴についてでございますが、定員12名に対しまして1名の傍聴の申し出がっておりますので、許可をいたしております。御報告を申し上げたいと存じます。

次に、委員の皆様の出席状況につきまして事務局から報告をいたさせます。

お願いします。

事務局（田中） 御報告いたします。

委員35名中28名の御出席でございます。定足数に達しておりますことを御報告いたします。

議長（白石勝洋君） はい、ありがとうございました。

それではまず最初に、報告事項についてでございます。

まず、第1回の任意協議会で規約を定めていただきましたが、これに基づきまして事務局体制を整備いたしましたので、事務局より自己紹介をいたさせます。

なおまた、事務局規程の詳細につきましては、参考資料の「久留米広域合併任意協議会事務局規程」を御参照いただきたいと思います。

それではお願いいたします。

事務局（村上） 事務局長を務めてまいります久留米市の村上でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

事務局（荒木） 事務局次長を務めてまいります久留米市の荒木でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

事務局（田中） 事務局次長補佐を務めております久留米市の田中でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

事務局（井上） 事務局の井上と申します。よろしくお願いいたします。

事務局（佐藤） 同じく事務局の佐藤と申します。よろしくお願いいたします。

事務局（高巢） 同じく事務局の高巢と申します。よろしくお願いいたします。

事務局（村上） これ以外に、きょう欠席いたしておりますが、久留米市の黒岩が事務局をしております。以上でございます。どうぞよろしく申し上げます。

議長（白石勝洋君） ありがとうございます。

事務局の皆さん方には本任意協議会の設置目的が十分達成されますように、今後一丸となって事務処理に当たっていただきたいと存じます。どうぞよろしく願い申し上げます。

次に、先日開催されました幹事会の報告を事務局からお願いをいたします。

事務局（村上） 第1回幹事会が開催されましたので、その審議概要につきまして御報告申し上げたいと思います。

第1回幹事会では、幹事会規程の確認の後に、幹事長、副幹事長3名の選出が行われまして、幹事長に久留米市の赤司助役さんが、副幹事長には北野町の永野助役さん、三潴町の原武助役さん、広川町の山下助役さんがそれぞれ選出されました。

次に、上陽町の方から本協議会への参加意向がありました件が緊急な項目として審議された次第でございます。

まず、赤司幹事長が経過といたしまして、7月25日に上陽町の井上助役さんが会長市でございます久留米市を訪問されまして、久留米広域合併任意協議会に参加いたしたいとの意向表明があった説明がございました。

幹事会では、第1に、本合併協議会は事業計画の中で参加を呼びかけることとしていること。第2に、上陽町は広川町・田主丸町・八女市・久留米市に連担しており、圏域を同じくしていること。第3に、本協議会も設立したばかりで、これから事務作業を本格化させる時期であり、スケジュールに大きな支障を来さないこと。これらのことから上陽町の加入に関する規約の一部改正等につきまして、本日の第2回任意協議会にお諮りするという事になった次第でございます。

なお、この件につきましては、参加をいつまで呼びかけるのか、またそのことによって任意協議会の作業に支障を来すことになれば合併特例法の法定期限での合併実現という前提が崩れはしないか、そういった意見が出された次第でございます。

幹事会といたしましては、新たな参加については、いつまでという期限を設けることは任意協議会という性格からなかなか難しいものの、事務作業や本任意協議会の基本的なスケジュールに支障が生じさせることはできないということで、意見の集約がなされたところでございます。

次に、本日の協議事項となっております「スケジュールについて」、「新市まちづくり構想策定基本方針について」、「事務事業現況調査方針について」、それぞれ審議がなされた次第でございます。その結果、本日の協議事項として提案されることになった次第でございます。

なお、この協議事項に関する審議の中で出されました主な意見といたしましては、スケジュールに関しまして、他の任意協議会の審議スケジュールとの絡みでスケジュールを後らせられないかという意見、この意見に対しまして、特例法期限を考え、このスケジュールに他の任意協議会の審議スケジュールを合わせていただくことが必要ではないかとの意見が出された次第でございます。

幹事会としましては、合併特例法の法期限内での実現を目指すためには、かなり厳しいスケジュールながら、このスケジュールでいかにざるを得ないということで、本日のスケジュール提案の運びとなった次第でございます。

また、新市まちづくり構想策定基本方針及び事務事業現況調査方針に関しましては、最重要項目、重要項目は、それぞれの市・町の事情で異なるし、年齢層などによってもさまざまな視点があるとの意見。また、新市まちづくり構想に関しまして、地元での説明のため、9月までにメリット・デメリット、あるいは一定、合併によってどう変わるかという内容が出ないといけないなどの意見が出された次第でございます。

幹事会としましては、事務事業の調査項目をこの最重要項目、重要項目、一般項目に区分することにつきましては是とするとともに、この区分につきましては各市・町の意見を十分に聞いて整理することで、新市まちづくり構想策定基本方針及び事務事業現況調査方針について事務局案を承認し、本日の協議事項として提案がなされた次第でございます。

このほか幹事会では、専門部会設置規程など、規約に基づき会長が定める諸規程について説明がなされ、本日の参考資料として添付すること。また、8月7日、本日から明日にかけて先進地視察を行うことなどが確認された次第でございます。

以上で、幹事会の開催内容報告を終わらせていただきます。

議長（白石勝洋君） はい、ありがとうございました。

ただいま、先日行われました幹事会での状況につきまして御報告がございました。

今の御報告につきまして何かお尋ねになりたい点等ございましたら、お願い申し上げます。

ございませんでしょうか。

ないようでしたら、次の議題に移らせていただきたいと思います。

上陽町の本協議会への加入に関連する議案でございます。

この件につきましては、先ほど幹事会報告にありました経過で提案されているものでございます。

第1号議案 久留米広域合併任意協議会規約の一部を改正する規約、並びに第2号議案 平成14年度久留米広域合併任意協議会歳入歳出補正予算(第1号)は、それぞれ関連ございますので、一括して議題とさせていただきたいと思います。

事務局から説明をお願いいたします。

事務局(田中) それでは第1号議案 久留米広域合併任意協議会規約の一部を改正する規約、並びに第2号議案の久留米広域合併任意協議会歳入歳出補正予算(第1号)を説明させていただきます。

資料の1ページをお開きください。

先ほど幹事会での御報告がございましたが、その中で上陽町さんの加入について規約の改正をお諮りするものでございます。

その内容でございますが、久留米広域合併任意協議会規約の一部を次のように改正する。この規約中「2市5町」を「2市6町」に改める。

第1条「三瀧町」の次に「上陽町」を加える。

第6条1項中、これは副会長の人数でございますけど、「6名」を「7名」に改める。

なお、この附則は本日平成14年8月7日から施行するというものでございます。

参考としまして2ページ・3ページに、この改正を含めました規約を添付しておりますので、御参照ください。

次に、平成14年度久留米広域合併任意協議会歳入歳出補正予算(第1号)について御説明いたします。

まず、歳入の方でございますが、歳入歳出とも当初予算は1,600万3,000円でございます。これを90万それぞれ増加をさせて、歳入歳出合計額が1,690万3,000円となっております。

まず、歳出の方でございますが、この90万の増加につきましては、上陽町さんが参加をされますので、この委員報酬等、それから視察等に伴う旅費等、そういったふうなもの、

これが約32万6,000円ほどございます。

それから事業増といたしまして、任意協議会の便りを1回ふやすということ。それから上陽町さんの全戸にも配布するというような関連で65万ほど、これが入っております。

それから旅費の再考、それから予算額の調整等、単価調整等を行いまして、90万という数字が増加をしております。

それから歳入の方でございますが、この90万につきましては負担金の方で増加をさせております。

具体的に申し上げますと、上陽町さんの負担金が60万、それから久留米市の負担金が590万から30万増加いたしまして620万というような形で行っております。

なお、このそれぞれの市・町の負担金につきましては、前回の予算と同じく、この経費のうち県の支出金500万円を充当をし、残りにつきまして均等割り、それから人口割り、それに応じてあと端数調整をしたものでございます。

なお、八女市、田主丸町、北野町、城島町、三潴町、広川町の負担金については、当初予算と同額になっております。

以上、簡単ではございますが、御説明を終わらせていただきます。

議長（白石勝洋君） はい、ありがとうございました。

ただいま事務局の説明が終わりましたが、この件につきまして皆さん方の方から何か御意見、御質問ございましたらお願いを申し上げたいと思います。

何かございませんでしょうか。

それでは第1号議案及び第2号議案につきましては、原案のとおり承認いただいておりますでしょうか。（拍手）

はい、ありがとうございました。

それでは第1号議案の上陽町の加入に伴います規約の一部改正と第2号議案の平成14年度久留米広域合併任意協議会の歳入歳出補正予算（第1号）は、原案のとおり決定することとさせていただきます。

なお、ただいま承認いただきました久留米広域合併任意協議会規約の一部改正に伴いまして、副会長を1名増員する必要がございます。つきましては、上陽町の牛嶋町長さんをお願い申し上げたいと思いますが、このような取り計らいでよろしいでしょうか。（拍手）

ありがとうございました。それでは、そのように取り扱いをさせていただきたいと存じます。

ここで上陽町の本合併任意協議会への参加が承認されましたので、上陽町の委員の皆様方に同席をお願い申し上げたいと思います。

御案内してください。

〔上陽町委員入場〕

議長（白石勝洋君） それでは事務局に、上陽町の委員の皆様を御紹介していただきます。

また、委員名簿を配付させていただきます。

〔委員名簿配付〕

事務局（田中） 委員の皆様を御紹介させていただきます。

お名前をお呼びしますので、その場で御起立願います。

牛嶋 剛委員でございます。（牛嶋でございます。）（拍手）

小川健之委員でございます。（小川でございます。）（拍手）

高田日出雄委員でございます。（高田でございます。）（拍手）

上野重人委員は本日欠席でございます。

なお、残り1名の方は現在調整中のことでございます。

以上で、御紹介を終わります。

議長（白石勝洋君） はい、ありがとうございました。

それでは上陽町の委員さんを代表いたしまして、牛嶋町長さんから一言ごあいさつをお願い申し上げたいと思います。

副会長（牛嶋 剛君） おはようございます。ただいま御紹介いただきました上陽町長の牛嶋でございます。

このたび、久留米広域合併協議会の任協の組織が結成された中で、上陽町がまた加入するという事で、委員の皆さん方、大変御迷惑をおかけいたしました。ひとつ今後ともよろしく願い申し上げまして、簡単ではございますけれども、加入のごあいさつにかえさせていただきます。どうもありがとうございました。（拍手）

議長（白石勝洋君） 大変ありがとうございました。

本協議会を代表いたしまして、心から歓迎申し上げたいと思います。

なおまた、牛嶋町長さんには副会長としての職責、よろしく願い申し上げたいと存じます。

これから21世紀の県南発展のために圏域を同じくする者として、どうぞよろしく願い申し上げたいと存じます。

それでは、次の協議事項に移らせていただきます。

まず、スケジュールについてでございますが、これは「事務事業現況調査の実施」、並びに「新市まちづくり構想の策定」と密接な関連がございますので、次の(2)新市まちづくり構想策定基本方針について、それから(3)の事務事業現況調査方針につきましても一括して説明を聞いた後、御協議をお願い申し上げたいと思います。

事務局に一括しての説明をいたさせます。

お願いします。

事務局(荒木) それではただいまから、スケジュール及び新市まちづくり構想策定方針並びに事務事業現況調査につきまして御説明申し上げます。

お手元に配付させていただいております資料5ページの方をお開きいただきたいと思えます。

スケジュールの方をここにまとめさせていただいております。上の方に任意協議会、それから幹事会ということで書かさせていただいております。会議をこちらの方で整理させていただいてるところでございます。

下の方に五つの事業を書かさせていただいておりますが、この事業に基づきまして具体的に事業進捗によりまして幹事会及び任意協議会の日程等、また内容等につきましては、その都度、御連絡させていただきたいと思っております。

事務事業現況調査の方でございますが、ここに最重要項目、重要項目、一般項目というふうに区分を分けまして、9月までの調査、それから12月までの調査という形で整理させていただいてるところでございますが、この内容につきましては、後ろのページにございます8ページに、「事務事業現況調査方針について」という資料でございますので、こちらの方で詳しく御説明させていただきます。

8ページをお開きいただきたいと思えます。

事務事業現況調査でございますが、これは2市6町の合併に関します協議を行いますが、その基礎資料といたしまして、それぞれの各市・町におきます事務事業の現況を調査させ

ていただくものでございます。

調査項目といたしましては、総務省が作成しております「合併協議会運営の手引」、この中に添付資料としてございますので、その調査項目をベースにしながら調査をさせていただきたい、考えておるところでございます。

また、当然その基礎調査項目だけでございまして、それぞれの地域に特有の事務事業というものがございますので、その項目につきましては改めまして調査をさせていただき、追加させて調査させていただくということになります。

また、合併任意協議会委員の方々に、事務事業の具体的な結果等を御報告させていただく場面等が出てこようかと思いますが、その後また追加して調査要望等があります事務につきましては、その必要の都度、調査させていただくということになるかと考えております。

調査方法でございますが、調査項目を最重要項目、重要項目、一般項目というふうに3項目に分類してございます。

最重要項目でございますが、重要項目の中から特に合併後の日常生活への影響が大きいと考えられる項目でございます。

重要項目につきましては、住民が最も関心が高い項目、一般項目につきましては、それ以外の項目ということで分類させていただいております。

この分類に基づきまして、調査の内容、それから期間等につきましても整理させていただいております。

最重要項目につきましては、現況調査をした後、具体的な課題整理、それから調整方針の作成、そういうものを8月から9月にかけて整理させていただきたいと思っております。

重要項目につきましては課題整理までを9月までに、一般項目につきましては現況の調査を11月までにさせていただきたいということで考えております。

調査結果の報告、また活用・周知につきましては、当然ながら調査結果の集約ができました時点で広域合併任意協議会へ御報告させていただくと同時に、基礎資料、また広報紙やホームページにおきまして周知をさせていただきたいと考えております。

また、現況調査方針を幹事会の中で御説明させていただく中でいろんな御意見をいただいております。その御意見を踏まえたところで調査というものは進めさせていただきたい

と考えているところでございます。

恐れ入りますが、もとのページ、5ページに返っていただきたいと思えます。

こういう事務事業現況調査を進めながら、あわせまして新市まちづくり構想、これにつきましてはその次のページに書いております、6ページに書いておりますが、この新市まちづくり構想を8月・9月、10月の頭までにはぜひつくり上げたいということで、スケジュール整理をさせていただいてるところでございます。

それでは新市まちづくり構想というものはどういうものかということで、策定方針につきまして御説明させていただきます。6ページからでございます。

新市まちづくり構想、この意義・目的でございますが、2市6町の住民に対しまして、わかりやすい合併後の新市の姿を提供するというのが意義・目的でございます。

それから新市まちづくり構想の性格でございますが、法定合併協議会におきまして建設計画というものが策定されますので、それとは異なっているということをもまず押さえさせていただきます。ただこの後、任意合併協議会から法定合併協議会への移行に伴いまして当然ながら、新市まちづくり構想というものも当然引き継がれていくものであるということで整理させていただいております。

3番目に、構想策定に当たっての基本視点でございます。

構想を策定するに当たりましては、次の基本視点ということで3点掲げさせていただいております。

第1点目が、合併対象市町の地域の独自性、そういうものを尊重した計画づくりというものが必要であるということでございます。これは今後、合併するに当たりまして新しい市としましての一体性、そういうものは当然ながら出てくるわけでございますが、それぞれの地域、これまでの合併対象市町のこれまでの歴史・文化、そういうものを尊重して、そういう地域のそういう個性、そういうものを踏まえた地域づくりというものが必要であるということでございます。

2つ目に、建設計画における合併対象市町のコンセプトの明確化ということで掲げさせていただいております。合併対象市町の新市建設におきまして、当然それぞれの市町の位置づけ、今後の発展方向、地域コンセプト、そういうものを明確にして進めていく必要性があるという整理をさせていただいております。

3番目に、広域合併意義の明確化ということで書かさせていただいております。これは合

併対象市町のそれぞれの地域の歴史・文化、また地域のコンセプト、そういうものを尊重しながらも、合併をするということによりまして一体として県南地域等におきます広域的な地域づくりに果たす機能、そういうものを明確にしていく必要があるということで、3点に分けて整理させていただいてるところでございます。

4番目に、構想策定に当たりましての環境認識ということで主なもの、特にまた新市まちづくり構想に当たりまして特に配慮が必要なものということで、3点まとめさせていただいております。

最初に、地方自治のあり方の変化ということで書かせていただいております。地方分権というものが具体的に進展しておりますので、それぞれが個性ある自立的な地域づくり、そういうものを目指す必要があるということ、まず押さえさせていただいてるところでございます。

2つ目に、厳しい地方財政の状況ということでございます。これは委員の皆様方もよく御存じのとおり、地方交付税の見直し、また巨額の長期債務残高、そういうものに象徴されます地方財政が厳しい状況の中で、今後都市づくりをどう効果的・効率的に進めていく必要があるかということをやっぱり踏まえておく必要があるということでございます。

それから3番目に、住民ニーズの多様化ということで、成熟型社会、都市型社会になった時点におきましては、住民の多様なニーズ、そういうものが出てまいりますので、その住民の多様なニーズに的確にこたえるためには、行政システムの質的な転換を図る必要があるということで、押さえさせていただいてるところでございます。

5番目に、構想策定体制ということで、新市まちづくり構想策定専門部会並びに主要課題ごとの分科会、ワーキンググループ、そういうものを組織しまして調査・検討を進めていくということにしておるところでございます。

それから構想策定期間ということで、7月から9月までの延べ3カ月の予定ということで、一応書かさせていただいてるところでございます。

7番目に、構想の決定方法でございますが、この構想策定を踏まえまして幹事会、それから任意協議会におきまして協議・決定をしていただくということになります。

それからその他の留意事項ということで、それぞれ2市6町におきましては、それぞれ総合計画、マスタープランをつくられておりますし、また国土利用計画並びに各種の行政計画というものをつくられて計画的な都市づくりというものを進められておりますので、

そういう計画には十分配慮していくということで整理させていただいてるところでございます。

恐れ入りますが、5ページにお戻りいただきたいと思います。

こういう事務事業現況調査、新市まちづくり構想等を進める中で、これから今後の合併の具体的なまちの姿というものを明らかにしていきたいということでございます。その明らかにしていく中で、住民への情報提供という場面が出てまいります。それぞれの任意協議会等の具体的に議論された内容等につきましては広報紙によりまして、それぞれの地域住民、市町の住民の方々に御報告させていただくと同時にホームページを開設いたしまして、それぞれの市町のホームページとリンクをはらしていただきたいということで考えております。

さらには、本日から行政視察ということで、きょう・あすお願いしてるわけですが、行政視察においでいただきまして、今後の事務事業現況調査の報告ないし新市まちづくり構想の報告にいろいろ御議論をいただきたいと思っております。

そしてこういう現況調査・構想の作業を踏まえて、住民への情報提供を進めてまいりますわけですが、その後、住民意向等がそれぞれの各市町で諮られるものと思いますが、その住民意向調査への支援をさせていただくということで、パンフレット等の作成を10月に考えさせていただいております。

以上によりまして、12月の法定合併協議会への移行に向けてスケジュールを進めてまいります。

以上、簡単でございますが、御説明を終わります。

議長（白石勝洋君） はい、ありがとうございました。

ただいま事務局からる御説明を申し上げました。スケジュール、あるいはこの新市まちづくりの構想策定の基本方針、さらに事務事業の現況調査の方針につきまして、それぞれ今予定しております内容について御報告、御説明をいたしたところでございます。

以上報告ございました、説明がありました件につきまして、皆様方の方から御質問等ございましたら、また御意見、結構でございますので、お出しをお願いしたいと思います。

はい、どうぞ。

委員（三浦俊明君） 2点あるんですけども、まず1点だけ言いますと、まず6ページのまちづくり、これは非常にいいことだと思いますけども、表現には出てませんけども、

これを見てますと、各市町村から持ち寄った希望を単なる足すだけになりやしないかと。例えば田主丸は植木だとかですね、そういうものも大事でございますけども、やはり新しい市を足し算じゃなくて掛け算的な発想でできないかと。

ここに全然出てないんですけど、例えば県の方から出た「合併をなぜするか」という理由の中にも、例えば「システム化がこの市町村合併を後ろから後押ししてる」という表現があるわけですね。したがって、例えば一緒になれば大きなまちになるので、こういうシステム化、例えば家庭から住民票が取れるとかですね、そういうもうちょっと掛け算的な発想的なものを入れていただけないかと。

実は田主丸の場合は二つのこの合併協議会に入ってまして、最後はやっぱりどちらの商品がいいかと、浮羽3町がいいか、久留米がいいのかというときには、トヨタの車がいいのかですね、ニッサンかホンダの車がいいかという商品価値になってくるわけですね。それを選べるように、ただ足し算ではですね、何だ今の田主丸のそのマスタープランと一緒にしないかと、何も変わりはないじゃないかと、こうなってくるおそれがあるわけですね。したがって、ぜひやっぱり集合体として掛け算的な発想をぜひ入れていただきたいということでございます。以上でございます。

議長（白石勝洋君） はい、ありがとうございました。

一通りお聞きして、まとめてというか、関連するやつもあるのかもしれませんので、よろしいですか。

委員（三浦俊明君） もう一つはこの日程問題でございまして、日程見ますと、このマスタープラン的なやつが10月で、12月には議会なり住民投票を終えて1月から法定協議会に入ると。その理由は、先ほど事務局から、きのう我々聞いたんですけども、平成16年の末に新しい市を発足するためには、やっぱりシステム化が大事だと、コンピュータを統一しなきゃいけない。これは確かに大事な問題でございますけども、私はコンピュータの方は何とかなるんじゃないかと、後ほど説明しますが、やはり住民にどう納得させるかと。田主丸の方では、これは皆さんの方でもそうかと思えます。二つの合併協議会に入っておられますと、本当に住民悩むんですよ。例えば久留米市で言えば、例えばこの2市6町と、例えば久留米市が福岡と合併するというに等しいわけですね。だから福岡と合併するか、久留米市がですよ、その2市6町で合併するのかというときは、これは簡単にいかないと思うんですよ。八女市もしかり、広川しかり、どこも同じだと思うんですね。

この日程で本当、消化できるかと。10月の初めには案ができるとうおっしゃってますけども、我々はこの商品化したものを住民に発表したいわけです。そしてどちらの車を選ぶか、どちらの市を選ぶかというときに、この日程はとても無理だと。現にさっき私言った掛け算のような案がですね、本当出てくるのかと。単なる寄せ集めですね、形になりませんか。

一番心配しますのはですね、その合併調査のさっきの総務省、自治省ですか、から資料出てきてるわけですよ。これが終われば合併が終わったという感じになっちゃ絶対だめなんです。これはね、行政の仕事、いわゆる役場なり市役所の仕事が各市町村でこぼこがあるんで、これを調整するだけなんです。だから、これは新市の姿じゃないんですよ。でこぼこの調整だけだ。だからそうなりますとね、役場と役場、役場と市役所の合併にすぎない。住民の合併になってないと。そういう意味からも、やっぱり住民の合併であり、あるいは本当に掛け算方式の合併にするためには、この任意協議会をもっと時間をかけて、そしてお互いにみんなが納得してやるくらいのことでない、私は久留米の協議会に入ってますから、久留米と合併したいんですよ。したがって、もうちょっと我々に時間とですね、材料を供給してくれと、ニッサンの車はこんないいぞというところを提供できるのは、こんな日程じゃ私は無理だと思っております。各市町村の御意見も聞いていただきたいんですけども、ぜひこれをあと二、三カ月、できたらぎりぎりの3月ぐらいに延期してもらえんかと。

その理由はコンピュータというふうに私は聞いたんですけども、これだったらもう大間違いだと、こんな判断されるのはですね。

なぜかといいますと、私の会社も全国に北海道から九州まで大きな工場があるんですが、コンピュータは立ち上げは一斉にやるんじゃないんです。大きくなればなるほど、1次立ち上げ、2次立ち上げと、ずらして行ってやれるわけなんです。そういうことを考えると、むしろ任意協議会に時間をかけて、法定協議会の方はずれ込みはせんけども、そのシステムとかそういうのであれば引き延ばせるわけですから、そういう御判断をぜひお願いしたい。演説調で恐縮でございました。

議長（白石勝洋君） ありがとうございます。

それぞれの市町の幹事の皆さんから幹事会の結果御報告お聞きになってると思いますが、今のお話の中でコンピュータが原因ということにも決してないようでございますが、それ

はまたこちらの方、事務局の方から御説明をしていただきたいと思います。一応御意見として最初にお伺いしました。ありがとうございました。

どうぞ、続きまして……。

委員（小西和義君） 田主丸の小西でございます。ただいま田主丸の三浦さんからお話もございましたように、大体似たような問題でございますが、御承知のように田主丸町は浮羽郡は一つだというようなことで本日まで進んでおります。しかし私は久留米との合併の方に出してくれというようなことで、自分で希望して出たようなわけでございますが、うちあたりの土地としては、地区としては、久留米と合併したいというようなことでございますけれども、御承知のように農協そのものも浮羽3町で一つになっております。そういうようなことで、これは別れて久留米と合併するということは非常に難しい問題じゃないかと思えます。久留米に田主丸だけ。浮羽3町も一緒になってくるんじゃないかという期待を持っておりましたが、実は田主丸だけというようなことでございます。

その中で一番難しいのは、まだ住民の意向も全く聞いておりません。全く聞いてないんです。それで私たちがいろいろ話すいろんな会合の中で、合併どうかというようなことを聞いてみると、やっぱり久留米くさいというような意見がかなりございます。

それでそういう中でございますので、先ほども三浦さんから話がございましたように、現在の協議会の任協の期間を延ばしていただけたらというように言われましたように、私もそう思います。というのは、ほかの各今度合併される町村の方もそうじゃないかと思えます。ほかのところはよく知りませんが、やっぱり期間的にどうかなあと思って気がしますが、田主丸も十分そういうことがございます。というのは、事前に回ってないものですから、いつ町長するのと、各町の各現在の田主丸町のそういう合併について説明会なんかいつするのというようなことを話しながら、浮羽3町の方もまだ余り1回寄っただけで寄ってないというようなことでございますので、なかなか難しい問題だなと思えますので、そういう点を十分ひとつ御検討いただきまして、よろしく願いいたします。私の気持ちとしては、久留米に出てきてるだけ、久留米と合併をしたいという意向を十分持っております。失礼いたしました。

議長（白石勝洋君） ありがとうございます。

今お二方から、田主丸の皆さんから御意見をいただきました。大変ありがとうございました。

どうでしょうか、事務局、この点からいきますか。ほかにも御意見お聞きしてみますか。（「関連」と呼ぶ者あり）

関連ですか。はい、どうぞ。

委員（古賀正邦君） 田主丸の古賀でございます。スケジュールが出ておりますが、任意協議会がこれからあと4回ですか、きょうの任意協議会も数日前、文書をいただきました。全くそのどんな流れで、いつ、どのような話が行われて結論が出ていくのか、出るのかという先が見えないわけですよ。きょう幾らかわかったですけれども、わかりましたけれども、例えば9月の第3回の任意協議会では何が議論され、第4回では何が議論され、そして結論はこうやった形が出ていくと、出されると、それがわからないとですね、出たところ勝負で私たちは出て来ておるわけです。それではちょっと困りますね。やっぱりある程度の見通しをきちんと立てていただいて、このときの任意協議会ではこんなことが話し合われるということをもう少し明確にしていただけないでしょうか。

議長（白石勝洋君） はい、ありがとうございました。

このスケジュールに関連したこと、この日程の問題ですね、それからこの計画内容の問題、それから同じこの任協での会議の効率的な進め方に関連した御意見を今いただきました。今、田主丸の委員の皆さん方から3点ほど、お三方から御意見をいただきました。幹事会の方でもいろいろ下協議がなされておるといふふうに伺ってますが、そのとき日程・スケジュールの説明がありましたときにもちょっと触れてありましたが、今の御意見とちょっと異なる御意見をお持ちの委員の皆さん方もおられるということをお伺いして、全体の論議をきちんと整理していかなくちゃなりませんので、この今のお三方の御意見に関連しないことでも結構でございますが、まず日程・スケジュール等についての御意見があれば、そしてまた、そのほか関連いろいろございましたら、あわせて御意見を賜りたいと思います。何かございませんでしょう。

はい、どうぞ。

委員（平田 正君） 城島町の平田ですけれども、先ほどやっぱり私も同じように、田主丸の委員さんの方から話ありましたけれども、やっぱりこの久留米の広域圏で合併する場合には大きな規模になりますので、特例債があるからその時期にだけという形よりも、もっと大きな目で各町村が本当に広域合併でいいのかどうかということを実際に話し合うような、この任意協議会が場になってほしいと思うんですよ。まあ法定の協議会の方がど

ういうメンバーになるかわかりませんが、私どもは住民の代表として参加しておりますので、ぜひとも自分たちの真剣に話し合った合併論議が今後の合併のたたき台になるような協議会になりたいと思いますので、その点どうぞよろしくお願いします。

議長（白石勝洋君） はい、わかりました。御意見いただきました。

ほかの委員の皆様方、何かございませんか。

ございませんでしょうか。

それでは今お出しいただきました御意見について、事務局の方で幹事会での議論を踏まえて説明があれば、お願いしたいと思います。

事務局（荒木） ただいま議長の方からお話しございましたが、幹事会におきましてもやはり日程等のスケジュールにつきまして、なかなか厳しいというお話も出てきております。

まず最初に、スケジュールそのもののお話をさせていただく前に、広域合併任意協議会のあり方、また広域合併に関する今後のやはり方向性ということで、先ほど三浦委員の方からお話しいただきましたように、やはり単なる足し算じゃなくて掛け算の合併にならないと、せっかくの合併する意義がないんじゃないだろうかという御意見でございますが、確かにそのとおりであろうと思いますし、私どももこれから具体的にそれぞれ専門部会、分科会、またワーキンググループ等で具体的な新市まちづくり構想をつくっていくに当たりましては、そういう視点を踏まえながらつくらせていただき、また幹事会等に御提案させていただき、また任意協議会に御提案させていただこうかと思っております。

また、先ほど城島町の方でお話しいただきましたように、平田委員からもお話しいただきましたように、広域合併についてやっぱり真に議論する場が必要であるということも踏まえて考えていきたいと思っております。そういう意味では、先ほど田主丸町の古賀委員がおっしゃいましたように、事前にいろんな資料をお配りできる、事前にどういう形で話が進んでいくかというものがきちっとわかっているならば、それが一番いいんじゃないだろうかということでございますので、私ども今回の資料をお配りさせていただくときに、幹事会の終了後なるべく早くという時期で送らせていただいたわけでございますが、今後幹事会との日程、また実際の任意協議会との日程等も踏まえて、できるだけ早く議論の中身につきましても御報告させていただき、また御資料等もお送りさせていただきたいと思っております次第でございます。

それと別に、任意協議会のスケジュール等につきまして、大体どのようなスケジュールで進んでいくのだろうかということでございます。

私ども先ほど申し上げましたように、事務事業現況調査、また新市まちづくり構想というものを、それぞれの各市町の実際の状況等を調査する必要性ございますし、またそれぞれの具体的に都市づくりをどのようにされているかというものを整理する必要性はございます。そういう整理をあわせながら、例えば中間報告、また具体的な粗デッサン等が出てまいりますので、そういう粗デッサンないし中間報告等を9月とか、10月には最終形になりますが、9月・10月、また8月現在行っておるわけですが、この後もし一定事務事業等が進めば、そういうものを進めながらさせていただきたいと思ってる次第でございます。

その中で、どうしてそんなに急ぐのかというお話の部分があったのかなと考えておるわけでございますが、おっしゃいますように事務的なお話をさせていただきますと、やはりOAシステム、電算システムの統合という問題は非常に大きな課題でございます。これは決して関係がないということではございません。事務的には、そういう課題でございます。ただ、私どもが任意協議会から法定合併協議会へ12月に移行させていただきたいとお話をさせていただいてますのは、基本的にやはりこれからの市町村合併を考えていく場合に、具体的な合併の効果、メリット・デメリット、また合併をしなかった場合にどういうことになるのかというものを、やはりまず住民の方々にお示しする必要性がある。それがないと、それぞれ合併について、これからどうするのかという具体的な判断ができないという意味では、任意合併協議会の役割というものをまず住民の方々にいろんな場面、いろんな内容につきまして、すべてにわたってということではできませんが、住民の方々が実際に一番気にかかるところ、やっぱり重要だなと考えられるところにつきまして御報告申し上げ、また御判断をしていただくに足る資料を提供することであろうと。そういう意味では8月・9月、非常に限られた時間ではございますが、その時間にまずそういう部分をまとめさせていただきたい。そしてその後、具体的な協議、いろんな調整項目等が600とか700とか数字がいろいろございますが、そういう協議項目につきましては、その後、法定合併協議会の中でいろいろ御議論させていただきたい。そしてその協定項目に基づいていろんな事務処理というものが出てくるのではないだろうか、また建設計画等も出てくるのではないだろうか。そういう意味では、まず私どもといたしましては、新市まちづく

り構想と申しますか、新たなまちの姿、それがどういうふうになるかということをもとめさせていたきたいということで、こういうスケジュールを整理させていただいたというところでございます。

なかなかわかりにくい説明になったかと思いますが、非常に事務的な部分等もございますが、まずはそういう形で早い時期に御判断いただくような資料を先につくらせていたきたいという気持ちで、こういうスケジュールをつくらせていただいたということでございます。（「いいですか」と呼ぶ者あり）

議長（白石勝洋君） はい、どうぞ。

委員（三浦俊明君） 今の進め方については全く異論ございません。ただ問題はですね、住民に10月に説明して、2カ月間でその住民が判断できるかという問題なんですよ。だから事務局は9月末くらいには、これは結構です。しかも進め方もですね、私も町内でいろいろ言ったんですけども、総務省の700項目というのは極端に言うと、でこぼこ調整なんて後でいいじゃないかと、まちづくりを先にやれと、それも非常に見事な整理されてまして、全く賛成なんですけど、問題はですね、例えば八女市なら八女市は今も八女市内で頑張りたいと、それをひっくり返すくらいの案をつくってもらいたいんですよ。田主丸の場合は5分5分とか6分4分と言われてます。それをひっくり返す商品をつくっていただきたいと。だから、わずか8月・9月ぐらいで、その足し算でやることじゃだめだと言ってるわけですよ。

それともう一つは、その住民はばかじゃないですから、今は情報化社会ですから、もう悪いニュースが、浮羽3町で集まりたい連中は、もう久留米の悪口いっぱい言ってます。それを打ち消さなきゃいけないんですよ。打ち消すためには我々も材料が欲しいわけなんです。だから住民対策にものすごく時間がかかると、少なくとも三、四カ月は私がかかると思っています。その時間が欲しいと言ってるわけでございますから、基本スケジュールの、その事務局がやる仕事のスケジュールとしてはいいんですけどね、その住民側、市町村側に帰ったときに、とてもやり切れないということでございますので、よろしく願いいたします。

議長（白石勝洋君） 貴重な御意見、大変ありがとうございました。

関連で、ほかの委員さんから何か御意見ございませんか。

はい、どうぞ。

委員（橋本長年君） 事務局への質問ですが、専門部会ですね、専門部会の立ち上げ、これはスケジュール表ではどこのところになりますか、教えてください。

事務局（荒木） 専門部会、分科会、それからワーキンググループ等の組織が出てまいります。これは実際事務事業等の調査、また新市まちづくり構想の調査を現在行わせていただいておりますので、その中で具体的な方向性等を議論する時期になったらというふうに考えておりますが、現実的には8月の下旬、また9月には出てまいろうかと思っております。ただ、一遍に専門部会、分科会、ワーキンググループ、一遍に立ち上がるかといいますと、当然ながら時間的にはずれずれという形に立ち上がろうかと思っております。

委員（橋本長年君） 非常にこの専門部会が意味をなすと思うんですが、この5ページの新まちづくり構想、ここの中に専門部会は入るんですかね。どこの分野に入るだろうかというのをちょっと質問しております。

事務局（荒木） 一つ一つ私どもの方が説明すればよかったんですけど、申しわけございません。

新市まちづくり構想に当たりまして、事務事業現況調査につきましても、両方とも専門部会というものが出てまいりますし、そのある意味では具体的な調査・検討していただきます分科会等も出てまいります。両方とも出てまいります。

委員（橋本長年君） はい、わかりました。

議長（白石勝洋君） よろしいですか。

ありがとうございました。

今までの御意見のやりとりの中で、特に皆さんからも御指摘ございましたが、基本的にこの新しい合併に向けての作業スケジュールをどういう形で合理的・効率的に進めていくか、また真剣に内容の充実したものになしていくかということで貴重な御意見いただいております。この一番今焦点となっております一番大きなテーマは、この時間的に、やっていく内容的にはもうそういった方向でいいんじゃないかということですが、その日程的にそれで間に合うのかという、そういった御心配からちょっと日程の問題ございました。

この点につきましてほかの町、あるいは市の皆さん方からも御意見拝聴してみたいと思っております。いかがでございましょうか。

ほかに御意見ございませんか。

北野町さん、いかがですか。

委員（谷口邦博君） この最重要項目ですね、この件が一番町民に対してですね、北野は今、小郡とも合併協議会立ち上げておりますけど、メリット・デメリットの面を照らす中で、ここを明確に項目別に北野町の最重要項目は何なんだというものをですね、やはり久留米市のものはこうなんだ、北野はこうなんだというものを明確に出してもらわないと、住民の判断というのは、どっちこっちというのがつきにくいし、さっき田主丸さんが言われたように、住民の説明、北野の町長は住民の意思を尊重するというので両方立ち上げておりますけど、この項目が出た中で住民アンケートでないと、住民の判断はできないと思うわけですね。この項目をわかりやすく、やっぱり小まめにひとつ出してもらいたいと思うわけですね。

それと今、北野でいろんな話の中で、久留米市のこの合併に対してまでには、そのごみ処理場の問題も一つの片をやっぱりつけてもらわなければ、周りが補っていかないような状態ではですね、やはり日常生活に一番これからの問題になるということがやっぱり出ておるし、久留米市のその問題もひとつこの住民アンケートの取れるまでには判断ができるような体制をひとつつくってもらいたいと思うわけですね。よろしくをお願いします。

議長（白石勝洋君） いろいろ今御意見ございましたが、それぞれの市町、それぞれのその地域の課題抱えているわけですし、それはそれぞれの市町の責任の中で遂行してるわけですね、それは十分答えられるようにしたいと思っておりますが。

今ちょっと議題とさせていただきましたのは、今後のこういう協議を進めていくに当たっての日程の問題で御提案がっておりますので、その点について特に何か御意見ございましたら、またほかの方からでもお願いしたいと思いますが、いかがでございましょうか。

今、各委員の皆様から御意見拝聴しておりますが、各自治体の首長さん方はいかがでございましょうか、何か御意見ございましたらお願いしたいと思いますが。

はい、どうぞ、お願いします。

副会長（佐藤利幸君） 城島町の佐藤でございます。

今、各委員さんから出ております日程的な部分については、久留米市を除いてほとんどが、いわゆる任意協を二つ持ってるというような状況の中での選択を迫られるということの中での12月がどうなのかということだというふうに思うんですね。全く城島町においても、任協はできておりませんが、そういった話がまだあるという中で、やっぱり住

民の皆さんの判断を仰ぐということは大切なことだと、これがやっぱり民主主義だというふうに思うわけでございます。

そういう中で、田主丸の三浦委員さんがおっしゃったように、やはり比較検討できるようなものがきちんと出ないと、なかなか判断ができない。何もなくて、どっちがいいかというその上滑り的な意向調査というのは非常にリスクを伴いますので、これはやっぱり慎重にやらざるを得ないというふうに考えております。

できれば特例期間の中で合併というのが最大限に望ましいというふうに私も思っておりますし、それがどの辺までぎりぎりの期間かということをもっと詰めていく必要があるんじゃないか。私たちも12月の法定協に入るという前提でいろいろ考えて進めておるんですけれども、なかなかまだきちんとそれが自信持って出せるかどうかということも、ちょっと考えるところがございますので、この辺やはりそれぞれが地域の中で真剣に考えれば考えるほど、その期間というのが非常に短過ぎるんじゃないかというこの思いだろうと思っておりますので、ここの辺はやっぱりもっともっと皆さんの意見を出していただいて、十分協議する必要があるんじゃないかというふうに思います。よろしくお願いします。

議長（白石勝洋君） ありがとうございます。

今の御意見もっともだと思っておりますが、市長さん。

副会長（野田国義君） 八女市の野田でございます。

私自身も最初にこの集まりがあったときに逆に記者会見、あるいは白石市長に、早く青写真と申しますか、そういうものをつくって示し、そして論議をしたいということをお願いをしておった一人でございます。そういうこともここに配慮をしていただいたのかなと思っておるところでございます。

しかしながら、先ほどから田主丸を初め多くの意見が出ておりますように、私は実を言いますと、今月号の市の広報に、この法定協議会移行する時間として、2月ぐらいが最終なのかなというような発言をしておるところでございます。これが1月か2月か3月かというような判断がどうしていくかということがまた問題になろうと思っておりますが、今聞いておりますと要はですね、私もそうでございますけれども、要するにその論議をする時間が、青写真を示した後必要だということが、皆さんおっしゃっておるようでございますので、そのあたりのところをどうこの任協の中でとらえていただくかということではないかな。ですから今、12月・1月というようなことが出ておりますので、そこを本当に、

じゃどこまでだったら論議の時間としてあるのかということをお慮いただければありがたいなと思うところであります。

副会長（砂山惣吉君）三瀨の砂山です。思いは皆さん同じだと思っております。ただ、法定期限というのがあるわけですから、やはりこれもきちんと頭の中に整理して、事務局としてもスケジュールを考えているんだろうと思っております。そういう面では、やはり活発な意見の中に、短い時間ですが議論は議論として重ねながら、やはり一つの目的に向かって進むべきだろうと思っております。

先ほど城島町長からもお話ありました。三瀨郡の状況も皆さん方御承知のとおりです。いろいろ事情はまだまだいろいろと展開しておるわけですが、そういう両面を抱えながらのこの任協へ加入しているわけですから、その辺きちんとした整理、デメリット・メリット、そういう方向は隠さず住民の中に説明して、短期間のうちに結論を出さなければいけない時期だと思っております。そういう面では、この本年いっぱい等々というのが、やはり我々の責任を明確にする時期だとも思っております。そういう一方的な考えでもいかないかもしれませんが、やはり住民の意見というのは尊重しながら、これはいきたいと思っております。思いは一緒です。

議長（白石勝洋君） ただいま委員の皆様方からそれぞれ貴重な御意見をいただきました。

基本は、それぞれの委員の皆様方が異口同音におっしゃっていただいておりますように、新しい市を構成したときに、どのような新市構想になるのか、それをぜひ住民の皆さん方、関係地域の住民の皆さん方は希望を持ってそういった青写真を期待したいという、そういう思いと同時に、それぞれの町における、あるいは市におけるそのいろんな課題が、どういう形で解決に向かって進んでいくのかという、具体的なそういう見方もあろうかと思えます。

要は、法定協議会のお話が先ほどからも出ておりますが、17年の3月までに合併を実現するという、これを大前提でこの協議会はスタートしておるということだけは、ぜひ押さえていただきたいと思います。そういう中で、できるだけその事前の調査なり、あるいはそういう課題の整理なり、あるいは新市の新しい方向性なり、そういったものを住民の皆さん方にできるだけ多くの判断材料が提供できて、その提供した材料に基づいて住民の皆様方、自治体としての一つの取りまとめをしていただく、そしてそれが次の法定協議会

の最終決定のその材料としていただくということになってこようかと思ってます。

ですから事務局で今、前回のそれぞれの皆さん方のその自治体から出ておられる幹事会、幹事の皆様方の御議論が幾つかこう御意見があって、その中でそれを整理した結果が、今回のスケジュールとして御提案したということも先ほど説明がありました。幹事会の中ではそういった議論があったかと思いますが、今この任協の中でそれぞれの委員さん方から改めてスケジュールについての大変熱心な御意見いただきました。

問題は、12月までという一つの日程の中で、今幾つも出ました、そういうその要素が何とかこう解決に向けて前進できるのかという、そういう時間的な問題がちょっとありました。じゃ、それが3月まで延びたからそれで大丈夫かということもまた議論があるかと思いますが、要はできる限り、できる限り早くそういった住民の皆さん方に提供できる、そういう作業をきっちりとやるということがまず基本だと思っておりますので、その後に日程の問題は出てくるということが基本ではないかと思ってます。

もちろん、事務局等の幹事会の中でも、最初に日程ありきということで議論してはないと思っておりますので、その辺はまた御理解賜りたいと思っておりますが、今るる御意見が出ました。

この日程につきまして事務局、どうしますか、再度協議していただく時間取れますか。

委員（十中大雅君） いや会長、このままで進められてですね、早く皆さん方が指摘されてるものが出てくるような状況をつくってですね、しかしそれができないときにはまた判断するというので、きょうはこのスケジュールを承認していただいてですね、その中でその後、判断していくということではいかがでしょうか。

議長（白石勝洋君） 今お聞きの御意見出していただきましたが、いかがでございますか。（「それでよかと思います」と呼ぶ者あり）

よろしいですか。

委員（三浦俊明君） いや、そうじゃなくてですね、町に持ち帰ってですね、持ち帰って期間が欲しいと言ってるわけです。

それはね、今も判断してできるわけなんですよ。9月末で案できますね。問題はですね、その後の期間を言ってるわけです。住民に我々は比較をして、これで随分議論が本当に9月までできるかと、もう1回議論せにゃんじゃないかと思うんですが、それは変更構わないと思うんですが、問題は持ち帰ってですね、それを比較を我々が作業をして、そして住

民にいろんな組織なり住民に出すわけですね、この期間が欲しいと言ってるわけなんですよ。それが2カ月じゃ無理だと。

議長（白石勝洋君） その判断に立っておられるわけですね、今。

委員（三浦俊明君） そうです。だから早くやらないと、2カ月ではとても無理なんで、我々はもっと欲しいと。だから、それを今判断しなきゃいけないんですよ。やってみておってどうかという問題はですね、やってみておってどうかという問題は、このマスタープランが本当に満足いくものができるかできないかと、それは9月までにやって、これはだめだったら一月延ばしてもいいわけですよ。これは変更です。けども、田主丸できのう議論したんですけども、無理だと、2カ月間では、田主丸の情勢見ると。我々は久留米側の委員ですから、久留米側の立場に立ちたいと、本当に商品が出てくるかもわからないじゃないかと。今研修に行くくらいじゃないかと。そういう段階でですね、2カ月間でやれと言われても、とても見えないというのが実情なんですよ。

だから逆に言えばですね、このまま進めていけばですね、恐らく町の議員さん方はですね、もうやめろと言うのかというようにはね返ってきます、間違いなく。もう久留米の合併やめろと言うのかと、これは我々もう切ないんですよ。だからそのところは、きょう結論出さなくてもいいんですけども、ぜひお考えになっていただいて、もう田主丸はいいわというのであれば、もうこのままで結構ですけども、やってもらいたいというのであれば、もう少しお考えになっていただきたいというふうに思います。（「関連」と呼ぶ者あり）

委員（小西和義君） 今三浦さんが言われるようにですね、田主丸というのは非常に浮羽は一つだというようなことで進んできた中で、今度久留米と合併しようというようなことで、両またかけたような格好できてるものですからね。それでほかの町村もついてくるじゃろうと思ひよりましたたい。ほかの吉井・浮羽も、そんなら久留米の方に一応協議会だけ入ろうかというようなことになるじゃろうと思って思ってたら、全く入らんでしょう。それでこれは困ったなというようなことですね、それで住民にどう説明していいかというのは、三浦さんの言うようにですね、その点があるものですから、必ずしもしきるかなというようなことですね、若い者はみんなやっぱり久留米と言います。それは本当です。それはうちの孫が中学3年ですがね、そげんとでもやっぱりそういうことを……。そういう中でございますのでね、それでやっぱり時間がですね、足らんじゃなろうかというよ

うな気がします。

議長（白石勝洋君） ありがとうございます。

副会長（馬田 博君） 田主丸の町長でございますけども、田主丸の委員さん方の御意見をお聞きになっておりますが、御承知のように浮羽郡でも任意協議会をつくって1回だけ、その協議はいたしました。

日程の問題につきましては、きのうも田主丸の委員さん方だけは勉強会をしていただきました。そしてこのスケジュールの問題についても事務局から提案いたしましたので、十分に検討していただいた。その中で、法定協議会に1カ所しか入ることができないならば、この日程では難しいであろうと。これが浮羽郡の法定協議会にも入ることができるし、広域の法定協議会にも入ることができるならば、日程は何とかいいであろうけれども、法定協議会には1カ所しか入ることができない。そうすれば、12月までには住民の皆さん方にその情報を発信して、理解ができるであろうかというようなお話があるわけでございます。そういったことから、田主丸の皆さん方の御意見が出てきておりますが、たまには早い結論が出てきておりますが、それは少し早過ぎると思いますけど、十分また勉強していただいてから最終的には結論は出さしていただくという、そういうことでございます。

議長（白石勝洋君） 先ほどはですね、できればできるだけ早い時期に住民に判断いただく材料を準備できて、それがその判断の資料として資することができればということで、今日きょう御提案しておりますスケジュールでいって一定進ませていただいて、その状況の中で日程について再協議していいんじゃないかという御提案をいただいて、それに対してまた今のような御意見が幾つか出てまいったわけでありませう。

要は、法定協議会は1カ所しか入れませんからですね。ですから、その意思決定をきちんと明確にしていかなくちゃなりません。そういった意味では先ほど三浦さんからの御意見も、9月ぐらいまでにこの新市構想が取りまとめられ、あるいは現況調査の結果で、いろんなそれぞれの地域のメリット・デメリットが明らかになり、住民の皆さんの判断に資する、そういう材料が一応準備できたと仮定して、それから住民にこのいろいろ御説明をし御判断をいただく、その時間が2カ月ではちょっと無理ではないかという趣旨でのお話ですよね。それでももう少し時間的にその余裕は取れないかという、そういった御趣旨での御意見だったと思っております。

それぞれの御意見ごもっともだと思っておりますし、私たちはせっかくここで一つの2

市6町という、この圏域を同じくする地域の皆さん方が今日のいろんな諸環境のもとで、将来、合併しなかったらどうなるかというその議論を真剣に考える、やる、その前提の上に立って新しい合併ということを目指そうという、その気持ちで参加していただいておりますので、精一杯この圏域の皆さん方の意見が集約された形でこの作業が進められていくことが一番望ましいだろう、そのように思います。

私どもも、この皆さん方からそれぞれの御意見をお聞きした中で、これは一つの方向を整理していくことは当然だと思っておりますので、このスケジュールについても真剣にまた協議をする必要があると思っております。

ただ、事務局がきょう御提案申し上げましたのは、前回までの各自治体で構成された、委員会で構成された幹事会の皆さん方でも議論は伯仲したけど、最終的には現行のスケジュールでとりあえず進みたいという、そういった方向が整理されたということから、御提案という形になっておりますので。ただ、今御提案したものの、各委員さんから、もうちょっと時間が欲しいという、そういった御要請も今いただいておりますので、その辺も十分勘案しなくちゃならぬと思っておりますのでございます。

いかがでございましょう、これは皆さんの総意で決めないとしようがないということになりますが、御意見の趣旨はお聞きのとおりで、要は合併を実現するためによりよい作業と、それからしっかりと住民の判断をいただく、そういうスケジュールにしたいという趣旨での御意見だと思っておりますが、いかがでございましょうか。

はい、どうぞ。

委員（樋口安次君） この合併特例法は平成7年から公示されておるわけでございます。しかし、第2次・第3次ありはしないかと悠長な考え方が潜在的にあったらうと思っております。しかし、この場に及んで政府は、これは第2次・第3次はないというところが見えてきましたものですから、そこでこれは今、白石市長さんのおっしゃいましたように、合併せなければどうなるのかと、非常にこういった国の財政規模から見ましても予見できるような話でございます。

そこで一応このようなスケジュールは当初から合意のもとに幹事会で窮屈なスケジュールでございますが、決めていただいた。そしてここでも皆さん納得づくで今日に至ったと。

そこでそれぞれの事情も抱えております。八女市も八女市で、非常に重要な電話までかかるような状況に追い込まれておりますが、そこそかなりにですね、八女市では広報に今

市長の行動、そしてこういった逐次報告をやっております。そこそこのあらゆる知恵を英知を絞っていただきまして、この合意に基づきましたスケジュールで進ませていただきたい。そして今、十中議長のおっしゃいますように、どうしてもこのスケジュールでハードであると、自分たちの努力がまだ足りない。市民に伝える時間が足りないといったときには、またその場で再検討すればよくはなかろうかと、まずそういうふうには私は考えるわけでございます。以上でございます。

議長（白石勝洋君） はい、ありがとうございました。

委員（今村 新君） 城島の今村でございます。失礼します。

私個人の考えでございますが、このスケジュールどおりに取り計らいをしていただきたいというふうに私は思います。そしてできるだけ早く、広報紙の発行等をできるだけ早く出していただくというのが私の考えでございますので、よろしく願いいたします。

議長（白石勝洋君） はい、ありがとうございました。

はい、どうぞ。

副会長（高鍋具弥君） 広川町でございます。今るる各町村の中から御意見が出たわけでございますが、このスケジュールにつきましてはですね、目的が久留米市長が言うておりますように、17年の3月までという法定の決まりがございますので、その中でですね、十分幹事会等でも協議されたということでございますので、ぜひともこのスケジュールの中で協議をしていただくということが一番基本であると思います。そういうことでぜひとも、そういうスケジュールの中でお願い申し上げたい。そしてその中で、各町村の事情等もいろいろ出てくると思います。そこでまた、皆さんたちと十分協議をするということがまた大事だろうと思いますので、そういうことでひとつぜひこのスケジュールでお願いしたいと、このように思っております。

議長（白石勝洋君） ありがとうございました。

はい、どうぞ。

委員（益永エミ子君） 北野の方からも、このスケジュールでいいと私は思っております。北野は決断を迫られてるような雰囲気でございますし、この線でいっていただきたいと思っておりますし、この今の議題とはちょっと外れるかもわかりませんが、住民の中の意見といたしまして、今回の合併問題は三井・小郡一挙に久留米市に合併という線はなかったのかと、そういうことがあれば北野は何も悩まなくてもよかったのかというような意見も出

ております。このスケジュールでいいと思います。

議長（白石勝洋君） はい、ありがとうございました。

委員（平田 正君） 城島町の平田ですけれども。

スケジュール的にはですね、やっぱり今後のスケジュールもありましょうし、私もなるべくこのスケジュールでいけるのであれば、行ってほしいと思いますけれども、要は会議の中身ですよ、やっぱり今久留米市長さんが言われましたけども、この協議会の大前提は、平成17年の3月いっぱいには新市を立ち上げるとありましたけれども、それは前提は前提として、じゃもしこの前提が特例債がなければ合併に皆さん方魅力がないのかという問題ですよ。あめはやっぱり欲しいですけれども、あめがなくてもやっぱり今後の地方分権なり社会の変化のために合併は必要だと思って参加してるならば、やはり真剣にそこら辺を議論できるような中身にならなければならないと思いますし、また各市町では郡部での合併問題がありますし、この任意協議会というのは大体入り口論だと思うんですよ。でも法定合併協議会の場合は出口論で、気持ちの中では三潯郡もそうでありましたように、その分で入り口だったと思うんですけれども、法定協議会では私なんか考えると、新しい市をこのグループでつくるんだという、最終的にそこにいくんだというための、なったときの議論と思うんですよ。ですからこの協議会、任意協議会が充実した内容になるような議論ができるような場をなるべくつくるように行ってほしいと思いますけど。

議長（白石勝洋君） わかりました。ありがとうございました。

たくさんの御意見いただきまして、大変ありがとうございます。

ただ要約しますとですね、私どもは基本的に、さっき八女の議長さんからも御意見いただきましたように、平成17年の3月の今回の合併特例法を勘案した中で、その合併を実現するということで意思を同じくした方々がこのテーブルに着いていただいているというふうに基本的に認識をいたしています。ですから、法定協議会というのは、あくまで合併を前提とした最後の詰めをする、そういった場になるわけでございますね。ですから私どもも今回この任意協議会で、できる限りのお互いの胸襟開いて、そしてそれぞれの地域の皆さん方の御理解、御納得がいただけるような、そういう作業を進めていきたいということで、先ほどスケジュール、あるいはいろんな新市構想等の基本方針も御議論いただいてまわっているわけでありまして。

この辺で、いろいろ御議論出ましたけれども、大方の御意見を参酌いたしますと、精い

っぱい限られた時間の中でということはもう皆さんわかっておる前提条件なので、そういう中で精いっぱい努力をやってみようではないかということでの御意見が多々あったかと思えますし、ただそういう中で、ぜひ住民に十分理解と納得、あるいはそういった御判断がいただける、そういう時間をぜひとも十分取ってほしいという御意見も、もっともな御意見でございます。

そこで今回、きょうの任意協議会の中で、私としてはやっぱり皆さん方の総意の中で議論をしていただいたわけですが、ここで一つのまとめを方向性を整理しなくちゃなりませんので、御提案させていただきたいと思いますが、いろいろお立場、御意見はいろいろそれぞれ皆さん方が拝聴されました。会長の私としましては、この任意協議会の中におきます今後のこのスケジュールの問題につきましては、本日の提案の内容どおり、スケジュールについては今日はこれで御了解を賜りたい、そのように御提案をさせていただきたいと思っております。

なお、先ほどから意見が出ておりますことについても十分踏まえた、そういった上でのその提案をさせていただいておるということで御理解を賜ればと思います。精いっぱい議論が、この判断ができるような材料のその作成作業に全精力を注ぎまして、できる限りのそういった対応が可能になるような努力をまずやらせていただきたい、そのような気持ちで提案を申し上げたいと思いますが、いかがでございましょうか。よろしゅうございましょうか。（拍手）

ありがとうございました。

それでは一応、本日提案させていただいておりますスケジュールを御了解いただいたということで、確認をさせていただきます。ありがとうございました。

そのほかの新市基本構想、あるいは現況調査等について何か御意見ございませんでしょうか。

十分下の幹事会組織、あるいはワーキンググループ等でしっかりたたいた上で、作業をさせていただいた上で、それぞれのまた委員の皆さん方にその情報がきちんと伝わるように、その準備はさせていただくことはお約束できると思えますし、それもできるだけ前倒しで委員の皆さん方にまた、任意協議会の前にそういったその情報提供ができますように、その準備させていただきたいと思えますので、よろしく願い申し上げたいと思えます。

それではようございましょうか。その次に移らせていただきたいと思えます。

それでは本日協議会終了後に実施を予定しております先進地視察について、事務局から説明をいたさせます。

事務局（田中） それでは本日協議会終了後に実施します先進地視察について御説明いたします。

資料の9ページをお開きください。

本日7日からあす2日間にかけて、先進地視察を実施したいと考えております。

本日任意協議会終了後、バスで長崎の方に向かいたいと思っております。長崎市を中心といたします長崎地域任意合併協議会、これは当初1市11町でことしの1月に発足をいたしましたものでございますが、7月に多良見町が任意協議会を外れたために、現在1市10町で構成をされたものでございます。現在までに5回ほど協議会を開催いたしてありまして、9月の第6回の協議会で一定のまとめを行いまして、10月の臨時議会等で法定協議会の設置を目指すというものでございます。

事務局は長崎市が事務局となっております。そちらの方の視察をさせていただきたいということで、既に私どもの事務局の方から、その長崎県内の合併の動き、あるいは任協の状況、それからスケジュール、それからその組織、それから任意協議会の役割等につきましてお話をいただくということで、調査項目を事前にそちらの方に送っておるところでございます。

そしてあすでございますけども、あすは諫早市を中心といたします長崎県央地区、こちらの方に出向く予定でございます。こちらの方は既にことしの4月に法定協議会を設置しているものでございます。

本日参加をされます委員の皆様は25名、それから事務局、それから随行ですね、随行というのは幹事会等、各町の方、それから事務局等含めまして総勢36名の参加になっております。

このような形で先進地視察を実施したいと思いますので、参加される委員の皆様につきましてはどうぞよろしく願いいたします。

以上で、終わらせていただきます。

議長（白石勝洋君） はい、ありがとうございました。

後ほどまた、関係の皆様方にはご案内があらうかと思います。

最後に、本日の会議録の署名人の指名を申し上げたいと存じますので、よろしく願い

申し上げます。

田主丸町の小西委員さん、それから北野町の谷口委員さんをご指名申し上げたいと思います。

後日、会議録が調製できました後に事務局から持参いたさせますので、御確認の上、御署名をお願い申し上げたいと思います。

以上をもちまして、本日の予定いたしました議事は終了いたしました。

委員の皆様方、今日は大変ありがとうございました。

なお、事務局から事務連絡があるそうでございますので、よろしくお願い申し上げます。ありがとうございました。

事務局（田中） 事務連絡をいたします。2点ございます。

まず第1点でございますけど、諸規程についての報告でございます。

先ほど事務局規程につきましては会長から御紹介がありましたが、その他の会長が定める諸規程も上陽町さんの参加を整理したところで、参考資料として本日の資料に添付させていただいておりますので、よろしくお願いいたします。

また、本日視察に参加される委員の皆様並びに視察随員の皆様をお願いいたします。

只今11時23分ぐらいでございますが、この後5分間ぐらいの休憩で11時半から事前の事務連絡を、視察に参加される方に対し行いたいと思いますので、11時30分になりましたら、この場にもう一度お集まりいただきますようお願いいたします。以上でございます。

議長（白石勝洋君） 本当どうもお疲れさまでした。ありがとうございました。（拍手）

（午前11時24分 閉会）

久留米市任意協議会会議の運営に関する規程第8条第2項の規程により署名する

議 長 白石 勝洋

委 員 小西 和義

委 員 谷口 邦博